

皿川の氾濫を巡る経過

(飯山市の資料や住民の証言を基に作成)

10月12日 午後9時	操作員が皿川の水門(樋門)で警戒開始
13日 午前1時44分	操作員が水門を閉鎖。報告を受けた千曲川河川事務所が操作員に退避を命令
2時10分ごろ	操作員が地元区長に「樋門を閉めた。避難をした方がよい」と連絡
2時20分ごろ	住民男性が皿川の越水を目撃し、市役所に連絡
3時20分	市が皿川沿いの北町区に避難勧告を発令(6時40分までに市中心部に順次発令)
3時30分	市が国土交通省に皿川への排水ポンプ車派遣を要請
5時30分	国交省の排水ポンプ車が皿川で稼働開始
7時	千曲川が市の飯山観測所で過去最高水位の11.10mを記録



千曲川(奥側)の合流部にある皿川の水門(樋門)11日、飯山市飯山

が、この日はせき止められた皿川が氾濫し、飯山市中心部が浸水。同事務所は水門閉鎖で皿川が氾濫を起こす確証はなかったとするが、「道義上、操作員を退避させたという特殊な状況を市に伝えるべきだった」としている。

台風19号の影響で飯山市の皿川が氾濫した10月13日未明に、国土交通省千曲川河川事務所(長野市)が千曲川合流部にある皿川の水門(樋門)を閉めて操作員を退避させたことを市に知らせていなかったことが21日、分かった。水門閉鎖は増水した千曲川から皿川への逆流を防ぐ対応だが、この日はせき止められた

水門閉鎖飯山市に通知せず 国交省 皿川 30分後に越水

水門は、同事務所が操作員として委託した地元住民が操作。操作要領は「水門を操作することまたは操作できない通知する」と規定している。



10月13日は、千曲川の水が皿川に逆流し始めたのを確認した操作員が午前1時44分に水門を閉鎖。同事務所はこの報告を受け、千曲川氾濫の恐れが高く、危険だとして操作員に退避するよう命じたが、その事実を市に伝えなかった。同事務所の万行康文副所長は「閉鎖が皿川の氾濫に直結するわけではないという認識があった」とする。

その後、別の住民男性が午前2時15分ごろに皿川の越水が始まるのを目撃し、同20分ごろ市に連絡した。当初は皿川左岸への越水だったが、その後、中心市街地側の右岸堤防が決壊し、600戸以上が浸水被害を受けた。

市が皿川のすぐ南にある北町に避難勧告を出したのは、午前3時20分。市役所周辺の福寿町などに避難勧告を出したのは同6時40分で、市は対応の遅れを認めている。市危機管理防災課の湯本登喜一課長は、市の対応の遅れは皿川氾濫を想定したハザードマップがなかった影響が大きかったとしながら、同事務所との間で「情報共有などの連携がうまくいかなかった」と説明。河川の防災を巡る国と地元自治体との連携の不備が浮かび上がっている。

仮橋設置で年内仮復旧

権兵衛トンネル 原因は地下水流出

上伊那郡南箕輪村の国道361号権兵衛トンネル出入口付近で10月に発生した道路崩落によってトンネルが通行止めになっている問題で、国土交通省は21日、崩落箇所に仮橋を設け、年内に片側交互通行を目指す方針を明らかにした。一方、本年度内の本復旧は難しいとの見方も示した。伊那市内で同日開いた有識者による第2回技術検討委員会の方針を決定した。

台風19号による豪雨で権兵衛トンネル出入口付近の深さ5メートル前後の地層から地下水が流出したと推定されている。調査によって出た推定結果を報告。仮橋の工事に合わせて、地下水が流出した地層に横方向から複数の穴を空けて橋から離れた場所から排水する工法も説明した。同省は、権兵衛トンネルや、



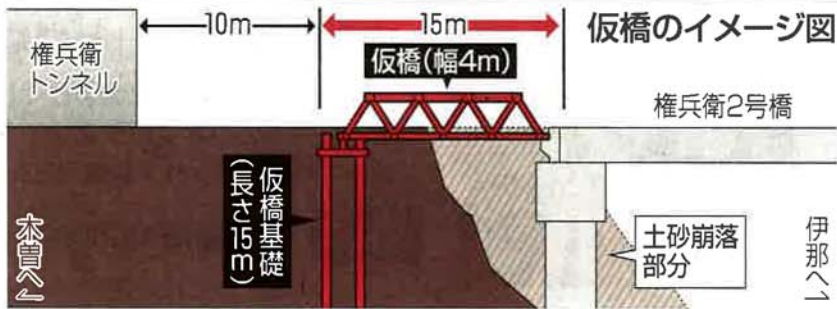
トンネルの出入口付近にある権兵衛2号橋に目立った損傷はなかったと報告。このため、崩落箇所に再び道路を造る復旧法を検討する。県は10月20日、トンネル出入口の約20メートル手前で橋台付近の斜面が大きくえぐられていたのを確認し、同日から通行止めにした。同日に権兵衛2号橋に接続する道路が長さ6メートルにわたり崩落しているのを確認した。

政府は今回の道路崩落を台風19号の影響による災害とみて、大規模災害復興法に基づいて「非常災害」に指定。県管理道路だが、国が代行して復旧に当たる。

佐久市 100億円超

台風19号による佐久市の農林業、土木施設の被害が、21日時点で100億円を超える見通しになったことが市の見通しになった。かんがい用の取水施設「頭首工」をはじめとする農業施設の被害が中心。市は本格復旧に向けた補正予算案を26日に開会する市議会12月定例会に提出する。

市によると、復旧の工法によって被害額は変動する見通しで、農林業施設だけで100億円を超える可能性があるという。「コメどころ」の市内を潤すための頭首工の被害がその半分程度を占めるという。この他、千曲川支流の滑津川が氾濫し堤防が決壊したことにより、決壊箇所付近の農地が大きな被害を受けた。水田だった一面に数多くの石が残り、「河原になってしまった」と嘆く市民も。農道の橋が流失した被害もある。



仮橋のイメージ図

権兵衛2号橋

土砂崩落部分

伊那へ

国道省飯田国道事務所(飯田市)によると、仮橋は鉄骨製で長さ15メートル、幅4メートルの伊那市側の出入口から10メートルほどの場所に、長さ15メートルの鋼材23本を打ち込んで橋台を作り、権兵衛2号橋の橋台との間に仮橋を架ける。図。トラックやバスも通行できる強度にする。

同省は崩落原因について、長野市は21日、記者会見を開き、台風19号の災害復旧費用212億8300万円の2019年度一般補正予算案を市議会12月定例会に提出すると明らかにした。市によると、1回の補正予算案としては過去最大で、補正後の一般会計総額も179億8100万円と最大になる。

【関連記事地域面北信に】

長野市は21日、記者会見を開き、台風19号の災害復旧費用212億8300万円の2019年度一般補正予算案を市議会12月定例会に提出すると明らかにした。市によると、1回の補正予算案としては過去最大で、補正後の一般会計総額も179億8100万円と最大になる。

千曲市、床上浸水なら「半壊」

千曲市は21日、市議会12月定例会に提出する2019年度一般補正予算案を市議会12月定例会に提出すると明らかにした。市によると、1回の補正予算案としては過去最大で、補正後の一般会計総額も179億8100万円と最大になる。

千曲市、床上浸水なら「半壊」

千曲市は21日、市議会12月定例会に提出する2019年度一般補正予算案を市議会12月定例会に提出すると明らかにした。市によると、1回の補正予算案としては過去最大で、補正後の一般会計総額も179億8100万円と最大になる。

千曲市、床上浸水なら「半壊」

千曲市は21日、市議会12月定例会に提出する2019年度一般補正予算案を市議会12月定例会に提出すると明らかにした。市によると、1回の補正予算案としては過去最大で、補正後の一般会計総額も179億8100万円と最大になる。

千曲市、床上浸水なら「半壊」

千曲市は21日、市議会12月定例会に提出する2019年度一般補正予算案を市議会12月定例会に提出すると明らかにした。市によると、1回の補正予算案としては過去最大で、補正後の一般会計総額も179億8100万円と最大になる。

千曲市、床上浸水なら「半壊」

千曲市は21日、市議会12月定例会に提出する2019年度一般補正予算案を市議会12月定例会に提出すると明らかにした。市によると、1回の補正予算案としては過去最大で、補正後の一般会計総額も179億8100万円と最大になる。

県に産業復興支援室

25日付 台風災害受け機構改革

県内の広範囲に被害を受けたらした台風19号豪雨災害を受け、県が製造業やサービス業、農林業など各種産業の復興・支援を支援する「産業復興支援室」を25日付で設置する。同日、分かった。産業労働部産業政策課内に25日付で設置式決定する。

今回の台風災害を受けた県の機構改革は初めて。県によると、千曲川の氾濫による県内商工業の被害は7日時点で648事業者、672億5100万円。県は農林業者や医療福祉法人なども含めると800事業者を超えるとみており、経営継続や雇用維持に向けて専門部署による組織的な支援策の展開を担う。

千曲市、床上浸水なら「半壊」

千曲市は21日、市議会12月定例会に提出する2019年度一般補正予算案を市議会12月定例会に提出すると明らかにした。市によると、1回の補正予算案としては過去最大で、補正後の一般会計総額も179億8100万円と最大になる。

千曲市、床上浸水なら「半壊」

千曲市は21日、市議会12月定例会に提出する2019年度一般補正予算案を市議会12月定例会に提出すると明らかにした。市によると、1回の補正予算案としては過去最大で、補正後の一般会計総額も179億8100万円と最大になる。

千曲市、床上浸水なら「半壊」

千曲市は21日、市議会12月定例会に提出する2019年度一般補正予算案を市議会12月定例会に提出すると明らかにした。市によると、1回の補正予算案としては過去最大で、補正後の一般会計総額も179億8100万円と最大になる。

千曲市、床上浸水なら「半壊」

千曲市は21日、市議会12月定例会に提出する2019年度一般補正予算案を市議会12月定例会に提出すると明らかにした。市によると、1回の補正予算案としては過去最大で、補正後の一般会計総額も179億8100万円と最大になる。

千曲市、床上浸水なら「半壊」

千曲市は21日、市議会12月定例会に提出する2019年度一般補正予算案を市議会12月定例会に提出すると明らかにした。市によると、1回の補正予算案としては過去最大で、補正後の一般会計総額も179億8100万円と最大になる。

あの時 そして 今
千曲川氾濫 1ヵ月

ぼろぼろになった、むき出しのコンクリート基礎。30センチほど下手に住宅の2階部分だけが置き去りにされ、その隣を大小の岩で荒れ果てた洪沢川が細く流れている。上田市真田町長。台風19号に伴う土石流などで、市内では唯一、全壊となった矢野久男さん(59)の家がここにあった。

被災から間もない10月18日。矢野さんが営むエノキタケ栽培工場を取材した。約7^キ離れた自宅は流失したが、工場近くの空き家を借りられ、妻の久美子さん(58)は「避難所暮らしなど」もつと大変な思いをしている人もいるのに、『被災者』と言っていないのかな」と遠慮がちに話していた。

上田・真田町 自宅が全壊した夫婦
生活と仕事 立て直し忙しく

まだ涙出るでも日々前へ



来季の生産再開に向け、エノキタケ工場で働く矢野久男さん（15日、上田市真田町長（梅田拓朗撮影）



基礎を残して流失した矢野さん宅。2階部分が奥に見える＝10月18日

自宅が押し流された10月12日。夫妻と同居の子ども3人は避難して無事だったが、仕事に欠かせない農業用トラクターなども失った。エノキタケ工場も無傷だったが、停電の影響で出荷できなくなった株を廃棄したり仮住まいの段取りをしたりで、直後は何も考える余裕がなかった。

それが日がたつにつれ、
「また台風が来たらどうしよう」「家に残っていたら、誰かがみんなの葬式を出していたのかもしれない」……と、夜

にすると久美子さんは考えて
しまい、不安になった。

一方で、家の残骸や残った
2階部分の片付けに多くの知
人やボランティアが集まって


くれた。支援物資の他、氣遣いの声や温かな励ましの手紙が届き、勇気づけられた。「いつか恩返ししなきゃいけない」と久男さんは前を向く。ただ、久美子さんはそうした境遇が心苦しくもあり、人が多い場所は苦手になった。生活再建に向けて立ち働く夫妻はいくらか元氣を取り戻しつつあるように見えるが、

「1ヵ月たつても状況は落ち着かない。まだ先のことを考える時間がない(久男さん)のが現状。久美子さんも災害当時の話になると、「皆さんが心配してくれて、家が流されたことよりも申し訳ない気持ち」と、どうしても涙がこぼれてしまう。

そんな中でも、家族で話す時間、そろってご飯を食べる機会が増えたと、久美子さんは言う。残った自宅2階からは久美さんの両親の位牌や、久美さんがかつて久美子さんに贈った指輪も見つかった。

「加工したら子どもたちの結婚式に着けられるかな」と少し頬を緩める久美子さんは、長男とともに今月が誕生日。16日には、市内の別の場所に暮らす次男夫婦も集まって食事をした。「次男と三男が同じ店でケーキを買ってきてね、同じ箱が並んだの」。久美子さんが笑った。

(赤羽 佳奈子)

 **上田市の住宅被害** 台風19号で千曲川と複数の支流が氾濫した上田市では全壊1戸、大規模半壊1戸、半壊10戸、一部損壊336戸(13日時点)の被害が出た。地域別では神川地区など上田地域が217戸、丸子地域が74戸、真田地域が49戸、武石地域が8戸。原因別では床上浸水29戸、床下浸水98戸、風害211戸、その他10戸だった。